

日本共産党

# こんにちは 松橋ちはるです



**プロフィール**

- 2006年 岡山大学法学部第2部法学科卒業 苫小牧で法律事務所など就職活動するが条件が合わず臨時職で働くもブラック企業で健康を害して退職
- 2010年 (株)三皇入社
- 2015年 道議会議員選挙 苫小牧市区に立候補
- 2017年 衆議院議員選挙北海道9区に立候補

私の原点です

## 若者が夢をあきらめない社会 みんなの願い道政に届けるかけ橋に



## 苫小牧の未来に カジノはいりません

苫小牧市長は「カジノを含む統合型リゾート（IR）を誘致すると雇用が生まれ地元経済の活性化になる」とカジノ誘致に前のめり。「人の不幸を食い物にするカジノはやめて。子どもが健全に育つような遊ぶ施設をつくってほしい」など、たくさんの市民から署名が寄せられています。

20年先ではなく、今必要な子どもの医療費を軽減したり、保育所の待機児童をゼロにして、子どもを産み育てていける環境をつくりたい。

## 苫小牧っ子です 苫小牧東高(定時制)、岡山大学(II部)で勉強 奨学金返済、「非正規」の苦労も体験

## 老舗 地元の 企業で 働く喜びを

私自身、大学卒業後、非正規雇用を何度も体験し、奨学金の返済も現在進行形です。パートで働きながら私を育ててくれた母の思いを感じながらアルバイトと奨学金を受けながら、高校、大学の夜間で学び卒業しました。

誰もが、お金の心配をせずに学べる環境づくりは「給付型奨学金制度」の実施です。その仕事を、切実な声を届けます。

卒業後、法律関係の就職を希望しましたが、就いた仕事は「非正規」労働で、長時間労働、残業代も出ないところで、体調を崩し退職しました。

その後の就職活動で、私にとっては初めての正規社員として地元老舗企業で働くことが出来ました。

こうした経験を持つ私は、「生きがいを持って働ける雇用と環境を整え、地元で根を張りがんばっている零細・中小企業をしっかり応援したいです。若者が安心して結婚し、子育てできる社会は政治に責任があり、その実現のためにがんばる決意です。

## 「9条の会」で 憲法の大切さを知る

「憲法はすべての原点」です。大学で学んだ法律を活かして、憲法9条(戦争しない国)、憲法25条(生きる権利)など、平和・くらし、医療・介護など、みなさんの願いを届ける「かけ橋」になります。

## 若者未来プロジェクト立ち上げ

私も体験した「ブラック」な働き方の若者が気軽に相談できる「居場所」として、4年前同世代の若者と一しょに立ち上げました。「平和と若者」というテーマで戦争体験者の話を聞く取り組みなども行っています。

・日本では、すでに536万人が「キャンセル依存症」。多重債務者が生まれ、家庭崩壊、自殺者。将来のための街づくりを進めるなら、子どもたちを健全な環境で、苫小牧市にカジノ誘致すべきではありません。

篠原昌彦 苫小牧駒澤大学名誉教授

・未来ある子どもたちのために人まかせにせず、女性の立場でハッキリものが言える代表として大きな期待をしています。

笠原紀久恵 元教師

**期待します**

・貧困と格差を解消する処方箋は、

- ①公正・公平な税金の使い方
- ②若者子育て世代・高齢者が安心できる予算づくり
- ③キャンセル依存症をなくすためにカジノ誘致は絶対阻止しよう。

この願いの「かけ橋」になろう。

宮崎有広 勤医協苫小牧病院院長

## いつも市民と一緒にを 信条に がんばります

# 苫小牧(胆振日高)くらしの声 もっともっと 道議会に

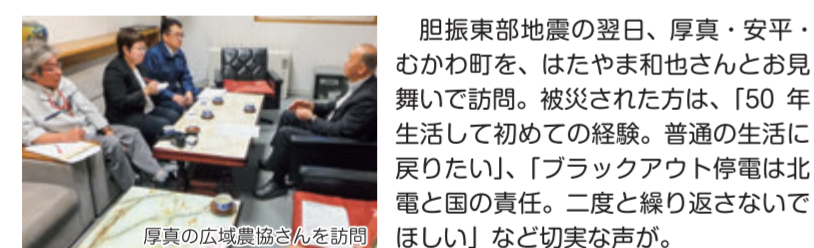


# 安倍暴走とめ、野党共闘すすめる議席を

## カジノより防災、くらし優先に

胆振東部地震で犠牲になった方、被災して苦しんでいる方がいます。活火山の樽前山もあります。それだけに防災の強化は急務です。カジノ誘致に市費5000万超を出費しています。何よりも防災・くらしを守ることを優先すべきです。

## 災害に強い北海道をつくりましょう



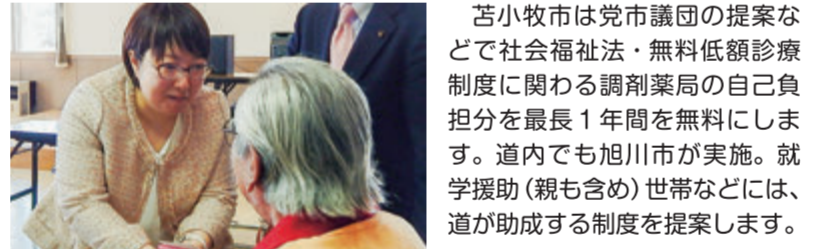
## カジノ誘致にお金を使うより、災害から命やくらしを守るための予算を最優先に



- ・命と生活再建を最優先し災害に強い北海道づくりへ
- ・泊原発は再稼働せず、ブラックアウトの教訓生かせ
- ・生活と生業の再建を最優先に防災・減災対策を抜本的に強化する

## みんなのくらしに安心を

## 無料低額診療制度 薬剤負担を



## 介護保険利用料の減免

子どもと若者にやさしい街づくりを

## 子どもの医療費助成は3まで 拡充 給付型の奨学金制度を

入院で小学生、通院で就学前の子ども医療費助成は、中学生まで拡充します。国民健康保険料(料)の均等割を多子世帯の子どもは免除する等、子育て世代がお金の心配なく病院にかかれるように提案します。道独自の給付型奨学金制度や32府県で実施している奨学金返還支援制度を創設します。

## 原発ゼロ 再生エネルギー

原発再稼働には63%が「認めるべきではない」(道新2018、4.13付け)と道民合意はありません。党道議団は、冷却水の貯水タンクなど耐震性に問題があることを明らかにし、泊原発の廃炉を一貫して主張し、大間原発について建設中止を引き続き求めていきます。

## JR廃線ストップを 日高線早期解決

JR北海道は、全路線の半分以上となる10路線13線区を「単独では維持困難」とし、線区によっては国への支援を求めない考えです。党道議団は、JR北海道の安全軽視の責任を追及し、沿線町長から寄せられた切実な声を道政に届け、被災した日高本線の応急措置を実現させました。

## 戦争はダメ! 対話外交こそ

安倍首相の9条改憲を道民と力合わせ阻止します。道内での日米共同訓練を中止させます。

## LGBT(性的マイノリティー)に対する 差別と偏見を解消し人権を守ります

公的書類における不必要な性別欄の撤廃、同性カップルを「結婚に相当する関係」と認定する条例や施策の実施。治療のクリニックを拡充します。

**民主苫小牧号外**

日本共産党苫小牧地区委員会  
苫小牧市見山町 2-2-6 ☎56-5002

日本共産党苫小牧地区委員会は、松橋ちはるの政策を発表しましたので、お知らせいたします。

**道政+市政 いっしょに 頑張ります**



苫小牧市議会議員 小野寺ゆきえ  
苫小牧市議会議員 江藤 良一  
苫小牧市議会議員 原 啓司  
苫小牧市議会議員 富岡 隆  
苫小牧地区委員会常務幹事部長 森本けんた